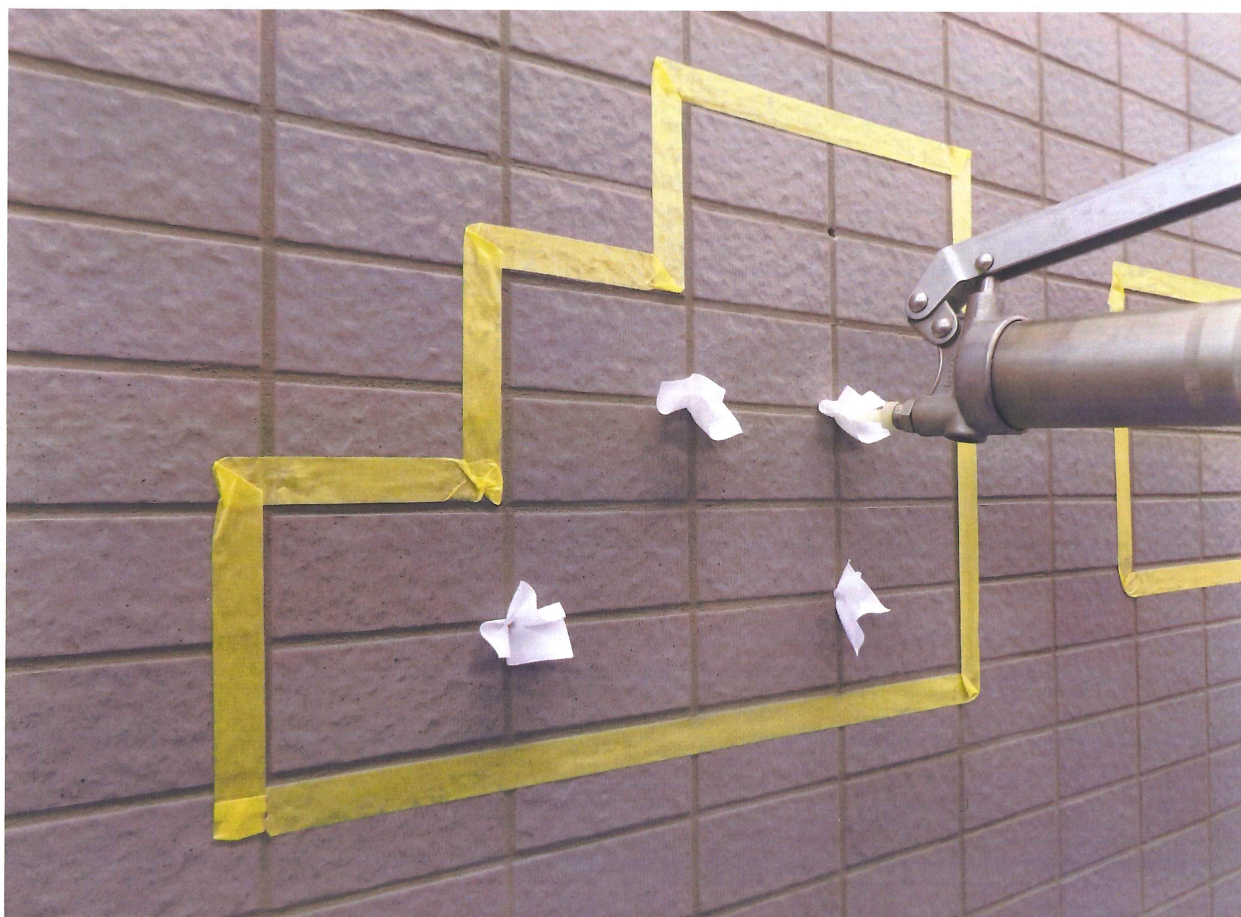


外壁仕上げ材の浮きに注入できる弾性接着剤

アサボン弾性G



アサボン弾性Gは、弾性接着剤の剥落防止効果をそのままに、注入材として最適な粘度を実現した“注入できる弾性接着剤”です。

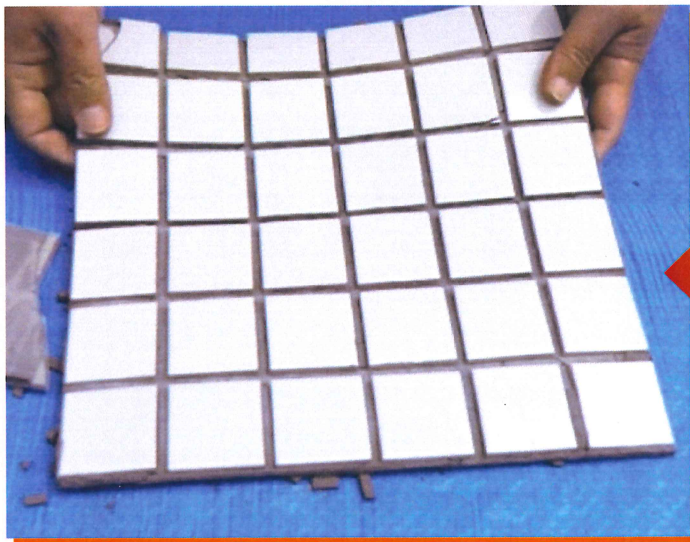
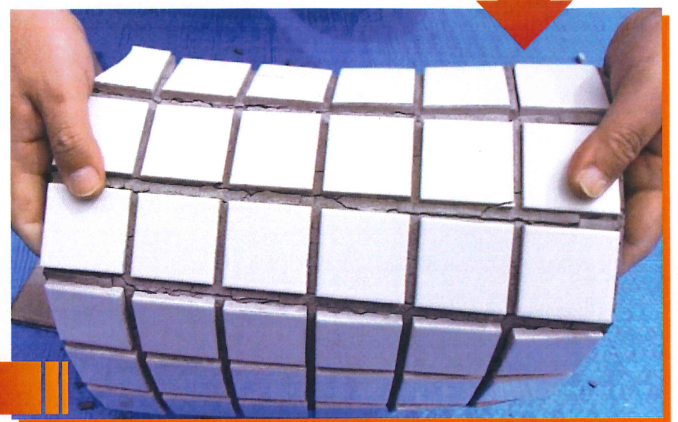
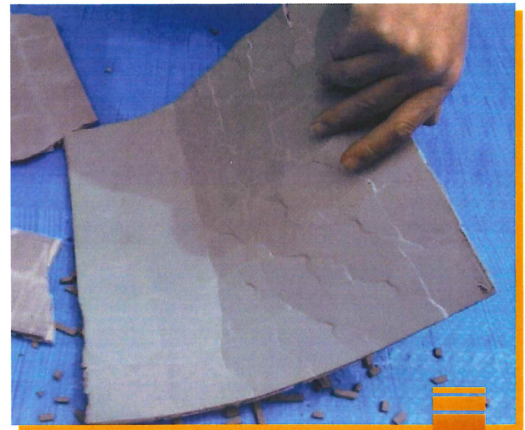
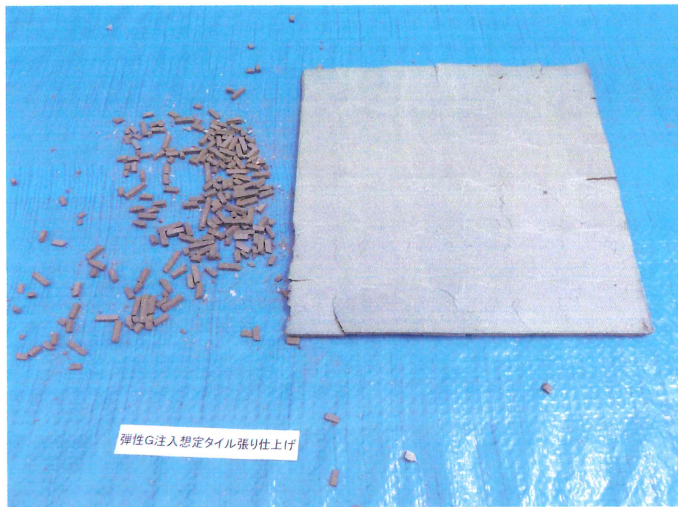
注入用エポキシ樹脂と外装タイル張り用弾性接着剤の
2つのJIS規格をクリアしています。

アサボン弾性Gの特長

- ・エポキシ樹脂の強固な接着力と弾性接着剤の柔らかさを併せ持つ注入材です。
- ・躯体と仕上げ材のひずみ差のストレスを吸収し、タイルが割れない、剥がれない補修を可能にしました。
- ・温度による物性変化が少なく、極寒、酷暑の過酷な環境でも安定した性能を発揮します。
- ・かぶれの原因物質の含有量が少なく皮膚にやさしい注入材です。
- ・3.3kgセット（主剤3kg、硬化剤0.3kg）の使いきりサイズなので無駄がありません。

アサボン弾性Gの耐衝撃性

裏面にアサボン弾性G（約0.4mm厚）を塗布したタイル張り仕上げ層（タイル+張付けモルタル+目地モルタル）モデルを作成し、1.5mの高さからコンクリート床に落下させました。



タイルのひび割れは散見されるものの分離破壊には至らず、アサボン弾性Gの衝撃吸収力が確認されました。

促進剤と遅延剤で可使用時間・硬化時間をコントロール可能

アサボン弾性Gは季節区分の無い通年製品ですが、促進剤・遅延剤で可使用時間・硬化時間をコントロールすることができます。添加量による可使用時間、接着性は以下の通りです。

可使用時間

気温	促進剤	遅延剤	可使用時間
5℃	なし		120分
	0.5%		60分
	1.0%		60分
23℃	なし		120分
	0.5%		60分
40℃		なし	60分
		0.5%	60分
		1.0%	120分

接着性確認結果

養生条件	促進剤	遅延剤	接着強さ A法	規格
5℃7日 低温養生	なし		2.1	1.5MPa 以上
	0.5%		2.4	
	1.0%		2.4	
23℃7日 標準養生	なし		3.5	
	0.5%		3.4	
40℃1日 23℃6日 高温養生		なし	3.4	3.0MPa 以上
		0.5%	3.2	
		1.0%	3.8	

初期との増粘率が1.5倍以下の値である状態を可使用時間範囲内とする。

性 状

項 目	性 状	
	主 剤	硬化剤
種 類	変性シリコン・エポキシ樹脂系接着剤	
外 観	白色ペースト	黒色液体
混合比(質量比)	主剤：硬化剤 = 10：1	
密度(g/cm ³)	1.27	1.01
粘度(Pa·s)	105	1
T.I値	6.0	-
混合後の粘度(Pa·s)	75	
混合後のT.I値	6.0	
指触乾燥時間(23℃)	360分	
初期との増粘率(60分)	1.48倍	

性 能

JIS A 5557 (外装タイル張り用有機系接着剤)による品質試験

項 目			アサボン弾性G試験結果	JIS規格値	
接着強さ	標準養生		0.80N/mm ²	0.60N/mm ² 以上	
			凝集破壊率100%	凝集破壊率 ^{*1} が75%以上	
	低温硬化養生		0.57N/mm ²	0.40N/mm ² 以上	
			凝集破壊率100%	凝集破壊率 ^{*1} が50%以上	
	アルカリ温水浸せき処理		0.59N/mm ²	0.40N/mm ² 以上	
			凝集破壊率80%	凝集破壊率 ^{*1} が50%以上	
熱劣化処理		1.35N/mm ²	0.40N/mm ² 以上		
		凝集破壊率100%	凝集破壊率 ^{*1} が50%以上		
凍結融解処理		0.90N/mm ²	0.40N/mm ² 以上		
		凝集破壊率75%	凝集破壊率 ^{*1} が50%以上		
皮膜物性	引張性能		引張強さ	1.23N/mm ²	0.60 N/mm ² 以上
			破壊時の伸び	250%	35%以上
	温度依存性	試験時温度 -20℃	引張強さ	1.92N/mm ²	0.60 N/mm ² 以上
			破壊時の伸び	300%	35%以上
		試験時温度 80℃	引張強さ	0.80N/mm ²	0.60 N/mm ² 以上
			破壊時の伸び	200%	35%以上
	劣化処理後の引張性能	アルカリ温水 浸せき処理	引張強さ	1.20N/mm ²	0.40 N/mm ² 以上
			破壊時の伸び	160%	25%以上
熱劣化処理		引張強さ	1.69N/mm ²	0.40 N/mm ² 以上	
		破壊時の伸び	200%	25%以上	

※1 凝集破壊率は破壊面全体の面積に対する凝集破壊（タイル、下地材を含む）の割合とする。

JIS A 6024 (注入エポキシ樹脂 軟質形)による品質試験

項 目			アサボン弾性G試験結果	JIS規格値
接着強さA法	標準条件B		3.5MPa	3.0MPa以上
	低温条件B		2.8MPa	1.5MPa以上
	湿潤条件		3.4MPa	1.5MPa以上
	乾湿繰返し条件		2.9MPa	1.5MPa以上
引張特性B法	標準条件B	引張強さ	1.2MPa	1.0MPa以上
		破壊時の伸び	250%	50%以上
	低温条件B	引張強さ	1.7MPa	1.0MPa以上
		破壊時の伸び	280%	50%以上
	加熱劣化条件	引張強さ	1.7MPa	1.0MPa以上
		破壊時の伸び	200%	50%以上
硬化収縮率			2%	3%以下
加熱減量A法	質量変化率		3%	5%以下
	体積変化率		3%	5%以下

使用上の注意

- ◇補強ピンはメカニカルアンカーを使用してください。
- ◇材料は、直射日光の当たらない場所に保管してください。
- ◇一度に混練りする量は、可使時間内に使い切れる量にしてください。
- ◇器具・衣服等に付着した場合は、未硬化のうちに溶剤を含ませたウエスで清拭してください。
- ◇低温（5℃未満）時や雨天（屋外施工時）に施工する場合は、硬化不良や接着不良の原因になりやすいので、施工の際は充分ご留意ください。
- ◇皮膚に直接触れたり、蒸気を吸い込むと、体質により皮膚障害を起こす場合がありますので、以下の点に注意してご使用ください。
 - ・コンクリート槽のように喚起の悪い作業環境の場合は、強制換気装置をご使用ください。
 - ・施工中は必ず保護手袋、保護メガネ、保護マスク等保護具を着用して下さい。
 - ・皮膚に直接触れた場合は、直ちに中性石けんで洗い落とし、異常を感じたら医師の診察を受けてください。
 - ・眼に入った場合は、大量の流水で洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。
- ◇使用にあたっては安全データシート（SDS）をお読みください。

梱包容量

3.3kgセット（主剤 3kg 硬化剤 0.3kg）1箱2セット入り



ASAHI BOND

アサヒボンド工業株式会社

本社 / 〒173-0031 東京都板橋区大谷口北町3-7 TEL(03)3972-4929 FAX(03)3972-4856
 新 工 場 / 〒352-0012 埼玉県新座市畑中2丁目16番43号 TEL(048)482-6611 FAX(048)482-6610